

かしわ発『おもてなしロボット』実証実験

【実験概要】

私（AI）が、みなさまを的確にご案内できるか？の実験です。
行き先や目的を告げると、行き方をご案内します。
正しくご案内できるよう、がんばります！

【実験】

期間：6月21日（水）～7月3日（火）

稼働時間：平日 9:00～12:00

【目的】

- 発音を聞き分ける訓練
- 語彙の学習（通称や略称等）
- より親切な案内方法の検討



【ロボットの概要】

このロボットは、株式会社国際情報ネットが主体となり産官学連携、地域連携により『柏発のロボット』として世に送り出すことを目指しているものです。『平成28年度補正 革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金』で採択され病院向けに開発したものを、今回は市役所向けに改版しました。このロボットには、「音声認識と画像解析のためのAI」が搭載されていて、この機能を高度化するためには、より多くの方と対話する必要があります。このため、柏市役所にご協力をお願いし、この場に設置させて頂いています。

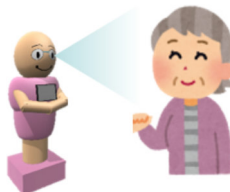


【サインージ・サービス】



任意のコンテンツを登録すると、ロボットがモニター表示をコントロールすると同時に、指定されたテキストを読み上げます。

人を見つけると、あいさつして案内が必要か聞きます。

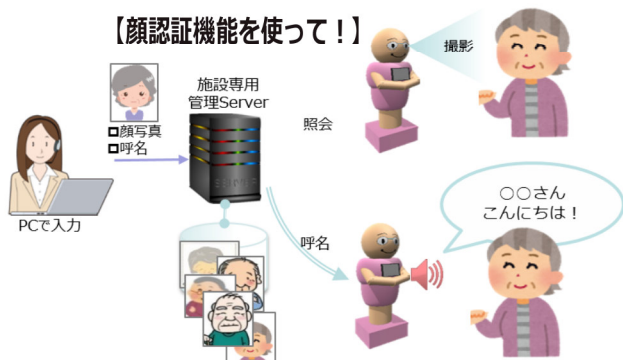


【館内案内サービス】

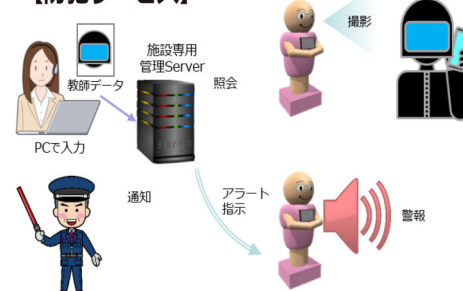


行先を告げると館内の場所、行き方を検索し、目印となる場所の写真と音声で案内します。目的を告げるとキーワード検索し、行くべき先の候補を上げますので、これに回答すれば行き方を案内します。

【顔認証機能を使って！】



【防犯サービス】



柏市役所ロボットがご案内

柏市役所で21日から「おもてなしロボット」の実証実験が始まる。同市のIT企業が開発中のロボットを設置し、訪れた市民らに会話やモニター上の写真・文字で行き先の部署などを案内する。市民らとやり取りすること、発音を聞き分ける能力や言葉を学習し、より賢いロボットに成長させることを目指すという。

ら開発を進めているロボット「DhaT（ディーハット）」。高さ137センチ、重さ15キログラム、カメラやマイク、距離などのセンサーを搭載。AI（人工知能）で画像解析や音声解析などができる。

来庁者がロボットに「年金」「税金」などという言葉を使って話しかけると、担当部署名と行き方について、ロボットは音声とモニターに表示する写真などで案内する。案内をしていな

市民とやりとり AI学習

あすから実証実験

い時はモニターに市の行事などを表示する。柏市は地元企業への支援とともに、市民にAIに触れてもらう機会が提供できるとして協力した。

同社は「AIを活用してどんなことができるのかを実験で探っていきたい」としている。今後、別の場所でも実験を行い、年内の商品化を目指す。価格は70万〜80万円ほどになる見込みだという。

ロボットは21日〜7月3日（土日除く）の午前9時から正午まで、市役所1階ロビーに置かれる。

京成



本発の「JGAP」を取得している県内の農業生産法人の取り組みを紹介する。2020年東京五輪・パ

県内青果市況

市場ごとの価格の前の丸数字などは量目

青果市況	千	葉	木更津	銚子	佐原
(キロ当たり)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
ダイダイ	170	173	162	1600	100
コンボウ	108	108	140	800	70
リンゴ	108	108	140	800	70

GAP、あるいは、県など第三者が定Pの取得が要件と虫ごり制度「らよ